

令和 6 年 9 月 6 日

保護者の皆様へ

藤井寺市立第三中学校
校長 奥 雅 美

令和 6 年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

仲秋の候、保護者の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また平素は、本校教育活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本年4月18日(木)に3年生で実施されました「全国学力・学習状況調査」の結果概要についてお知らせします。

1. 学力面について

問題形式別にみると、選択式問題の無解答率は全て大阪府・全国平均より低く、意欲的に解答しています。しかし、記述式問題の正答率が低く、無解答率も高く、記述式問題で「自分で考え、まとめ、表現する」ことへの苦手意識が強いようです。確実な正解でなくても、分かるところまで自分の言葉を用いて表現することに慣れていく必要があるようです。また、基礎知識と読解力に自信がないため、次のステップに進めない部分もあるので、基礎的な内容も含め、記述で解答する練習を継続していくことが必要です。

① 国語について

国語の平均正答率は、大阪府平均・全国平均を下回っています。本校の生徒は、他者との交流を通じての学習への興味を示すことが多く、意欲的に取り組もうとする姿はよく見られますが、一人で粘り強く取り組むことは苦手な傾向にあります。よって、今後は特に「地道に取り組むこと」や「書くこと」の力を養っていきたいと思います。個に応じたレベル別課題学習を設け、一人でも根気よく取り組み、且つ達成感を得られるような学習内容を考えていきたいと考えています。また、漢字などの基礎的な知識・技能を定期的に小テスト等で確認していくことはもちろん、記述についても、書いたあと班活動での交流を活かして、文章力をさらに磨いていけるような学習を行っていききたいと思います。

『生徒質問紙』で「国語の勉強は好きですか」という質問に対し、「当てはまる」「どちらかという、当てはまる」の肯定的意見が 52.8%、(大阪府 65.2%・全国 64.3%)と低い傾向にあります。一方、「国語の授業は大切だと思うか」の質問に対しては肯定的意見が 91.0%(大阪府 92.9 全国 93.9%)、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」89.3%(大阪府 89.3 90.6%)と、全国平均と大きな差はなく、「国語学習」の大切さや将来での必要性は感じているようです。「国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめていますか」82.0%、(大阪府 81.3% 全国 80.5%)、また「国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈していますか」83.7%(大阪府 82.7% 全国 82.0%)と高い傾向があることから、授業中での「学び合い」学習は参加できており、その場では内容が理解できていても、定着に繋がっていないため、基礎学習の反復をもとに日々の自学習へと繋げていきたいと思います。

② 数学について

数学の平均正答率は、大阪府平均・全国平均を下回っています。数学的な用語の理解をはじめ、問題文の理解ができていないことが考えられます。まずは基礎計算力をつける必要があります。そして問題の意味や意図を読み取るために数学的単語、数学的表現を知ることが大切です。基本的な知識の習得に向けて、新しい言葉等については、丁寧に、また、反復練習により定着度を高めてまいります。また、基本的な技能の習得に向けて、各学年、毎授業で繰り返し復習を多く取り入れ、継続的な基本的な計算問題練習で定着度を高めてまいります。

『生徒質問紙』において「数学の勉強は好きですか」「数学の勉強は大切だと思いますか」「数学の授業の内容はよく分かりますか」の全ての項目で全国平均を大きく下回っており、授業理解度が低く、数学の学習意欲と悪循環になっていることが考えられる。今後も、興味を持たせるような工夫とともに、基本的な知識・技能を習得しながら、基礎力を備え、自分なりの言葉でもよいので数学的表現＝アウト

プットする練習を積んでいくことに繋がたいと思います。

2. 生活面や学習状況について(生徒質問紙から)【数値は%】

①家庭生活に関わる項目

質問事項	本校	昨年比	大阪府	全国
朝食を毎日食べていますか	83.7	-3.8	89.1	91.2
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	74.7	+3.0	80.2	80.7
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	88.2	-6.6	92.0	92.5
普段平日1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(PCゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか	3時間以上 39.3		36.2	29.0
普段平日1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)	3時間以上 44.3		39.8	32.5

☆「朝食を毎日たべること」=朝食の「喫食率」が下がっています。朝食については学力との相関関係が指摘されています。規則正しい生活リズム(早寝・早起き・朝ごはん)を作り、1日のスタートとして、朝食を摂るという習慣はとても大切です。忙しい朝ですが、基本的な生活習慣の確立に向けて家庭でも意識していただき、ご協力をお願いします。

☆ゲーム・スマホの使用時間が相当長くなっています。この傾向は藤井寺市の児童生徒全体の大きな課題です。統計によると4時間以上ゲームをしている生徒の67%がSNSや動画を4時間以上視聴しているそうです。また、最近の脳科学の研究では3時間以上スマホを使用している子どもたちはどれだけ勉強し、睡眠をしっかりとって成績が下位に沈んでしまうことが報告されています。この項目の改善に是非家庭のご協力をいただきたいと考えています。

②家庭学習に関わる項目

質問事項	本校	昨年比	大阪府	全国
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか	1H以上 51.2 全くない19.1	1H以上 -14.0 全くない+7.30	1H以上 63.2 全くない10.6	1H以上 64.3 全くない6.6
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか	1H以上 38.2 全くない28.7	1H以上 -10.6 全くない+2.4	1H以上 53.1 全くない21.2	1H以上 63.0 全くない13.1
放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか(勉強や学習に関係していることと回答しているもの)複数選択可	66.8		84.7	88.5

☆本校の課題のひとつは普段学習ができていないことにあります。日常、スキマ時間を使って学習する習慣がほしいものです。それを「家庭学習習慣の定着」に繋がたいと考えています。昨年度から放課後自習室を開設し、週に1~2日だった開放日を多く設け、自習主体の「ゆめ教室」と個別課題プリントを用いる学習「自主学習タイム」を加えています。再度、広報し、放課後自習室を活用しやすい空間を整えていきたいし、生徒や教員にとっても持続可能な環境を整備していきたいと思います。

③学校生活・自分に関わる項目

質問事項	本校	昨年比	大阪府	全国
自分にはよいところがあると思いますか	79.2	+15.9	81.0	83.3
将来の夢や目標を持っていますか	57.3	-9.8	64.0	66.3
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.2	+11.0	95.2	95.7
学校に行くのは楽しいと思いますか	85.9	+8.9	82.5	83.8
友だち関係に満足していますか	92.7		89.2	90.1
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがありますか	93.2		89.4	89.8

☆今年度初めて調査があった「友だち関係に満足していますか」や「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがありますか」の項目については全国平均を充分上回っています。ウェルビーイングを数値化することは難しいですが、このような項目から見取ることができるのではないのでしょうか。

☆「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」今年度は大きく回復し、大阪府や全国平均を上回りました。日常生活のあらゆる場面で人権感覚を養うよう心掛けてきたことがこの項目の向上につながったと考えられます。

☆今年で3年目となる「ポジティブ行動支援」の取り組み＝「Good Job カード」の効果が大きく出てきているようです。今後も引き続き「Good Job カード」でありがとうメッセージをカードにしてもらい、自分が役に立っていること＝「自己有用感」を実感する機会を増やしていきたいと思います。

☆生徒たちは「学校に行くのは楽しい」と感じていますが、卒業後直近の進路だけでなく、「将来の夢や目標」という大きくキャリア教育を学年毎に積み上げていきたいと思っています。

④授業に関わる項目

質問事項	本校	昨年比	大阪府	全国
1,2年生の時に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	59.0	-8.7	67.2	64.8
1,2年生の時に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	65.7	-7.3	80.3	80.3
学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	67.1	+12.7	83.6	86.1
1,2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか(週1回以上)	88.2	-4.6	83.6	89.0
1,2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、楽しみながら学習を進めることができる	84.8		81.1	82.4
学習した内容について、分かったことや、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	71.3	+15.4	79.2	77.1
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか	62.5	+16.2	79.5	79.0
総合的な学習の時間では、自分の課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	71.3		78.4	82.2

☆本校はこれまで「学び合い」をスローガンに掲げて実践を行ってきた中で、より具体化させた非認知能力にスポットをあて、次の3つの課題を解決していきたいと考えています。

課題①

携帯電話やスマートフォンのゲームや動画視聴時間が長いことについても、自分の時間の使い方をコントロールする自制心や忍耐力に関係する課題 ⇒「自分と向き合う力」

課題②

学習時間を自ら確保する行動をとること。向上心に関係する課題 ⇒「自分を高める力」

課題③

他者との関りの中で、課題を解決していく力に関係する課題 ⇒「他者とつながる力」

これら3つの領域の課題を、学力の根底にある「自分と向き合う力」「自分を高める力」「他社とつながる力」という非認知能力を引き上げることによって解決していきたいと考えています。

☆授業中の活動に生徒の心を動かし、「学び合い」できる仕掛けを継続して取り組んでいきたいと思っています。

3. 最後に

全国学力・学習状況調査は毎回中学3年生を対象とし、同じ子どもたちの経年変化を現すものではないため、単純に前回の結果との比較はできません。ただし、その結果は、本校の取り組みを検証し、取り組み等の改善を図る一つの目安となると考えています。

本校の学力調査の平均正答率は全国・府に比べて低いですが、生活満足度の高い生徒の割合は全国平均よりも高く、学力向上に向けた取り組みの成果が現れている部分もあります。

本校では、学校全体として生徒の学力向上と教員の授業力向上の取り組みを進めています。今年度は、『学び合い生徒の感情に働きかける授業実践 ～非認知能力を軸に～』を目標として、授業改善に取り組んでいます。非認知能力とは忍耐力や意欲、自尊感情、協調性などテストで数値化することが難しい能力をいいます。

今年度「生徒につけたい力」として、

①「主体的に学習に取り組む態度」

②「アウトプットし、学び合う力」

③「家庭学習の定着」 の3つを挙げています。

生徒各々の考えを発表することや、主体的に考える姿勢を育てていくために、1問1答のような質問ではなく、生徒に考えさせる発問を中心とした授業の組み立てを考えています。また、理由や根拠を示し、発表する仕掛けを用いて、主体的に取り組める姿勢や考えが深まるような活動を模索しながら取り組んでいます。さらに生徒に考えさせた内容を吸い上げたり、いくつかの考え方に分類したりすることをICTを活用しながら授業作りに取り組んでいます。加えて、これらを定着させるための時間を放課後や家庭学習につなげることをここ数年、継続して取り組んでいます。

また、子どもたちの学力向上や健やかな成長には、基本的な生活習慣の確立は欠かせません。学校と家庭が連携を図り、子どもたちと向き合い、「わかりやすく伝える・子どもの思いを聞く(子どもが話せる環境づくり)」ことが何よりも大切です。様々な経験を通して自分に自信を持ち、生活を楽しむことができるように、学校・家庭・地域が手を携えて取り組んでいきたいと思っています。今後とも、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。